

大断面や特殊材にも対応した金物併用ライン

株式会社山二
プレカット部



長野県をメインに建材販売やプレカットによる部材供給を行っている(株)山二(長野県須坂市、宮野尾宏社長)の創立は1954年3月。設立当初は材木店として製材事業を手がけていたが、1970年代中盤に更なる事業の展開を図るため、建材や住設機器、住宅の販売を開始。1990年には製材事業を廃止し、それに代わる形で県下初となるプレカット事業をスタートさせている。開始当初からCAD/CAM化された全自動プレカットシステムが導入されており、構造材や羽柄材、面材、金物工法などのプレカット製品を、長野県を中心とした関東甲信越エリアに供給している。

約1,470坪の工場には横架材や柱材、羽柄材、束合板などの加工ラインが設置されている。これまで同工場の横架材加工ラインはシングルラインの加工機を2ライン同時に運用することで生産力を上げていたが、そのうちの片方が老朽化したため、2016年1月8日から24日にかけて加工機の入替えを実施。その際に宮川工機製の全自動横架材加工機MPS-VX03(ツインライン)を導入し、残った既存ラインと併せて2+1ラインでの運用を開始している。将来的に残りの既存機に更新時期が訪れた際は更なる生産能力アップを図る計画なのだという。



加工ラインはMPS-55の単独運用も考慮されている



5種類の金物工法に対応した加工機も2ラインで並走